

平成28年度第2回青梅市図書館運営協議会会議録

平成28年10月20日（木）午後6時～
中央図書館多目的室

1 あいさつ

会長

2 報告事項

(1) 平成28年4月1日付け人事異動について

(事務局) [資料1にもとづき説明]

(2) 平成27年度決算について

(事務局) [資料2にもとづき説明]

(委員) 分館図書館運営経費の消耗品費の新聞購入は、市民センターにある新聞とは別のものですか。

(事務局) 市民センターにある新聞は、図書館で費用を負担しています。河辺および東青梅市民センターにある新聞は、3月末の図書館廃館に伴い、市民活動推進課で費用を負担しています。

(委員) 27年度は市の決算ですか。28年度からは指定管理者の決算ということですか。

(事務局) 決算は、科目が管理運営委託料という総額での形になり、市が執行した科目と協定書に則った部分の数字を市から報告します。

(委員) 中央図書館管理運営経費の使用料の不用額が多い理由を教えてください。

(事務局) 駐車料金がかからない時期があったため、減額となりました。

(3) 指定管理者による図書館の管理運営について

(指定管理者) [資料3にもとづき説明]

- (委員) 乳幼児預かりサービスは徐々に利用が増えています。リピーター以外の要因はありますか。
- (指定管理者) 当初は新聞にとりあげていただき、その後、サービス中にカーテンを開けて中の様子を見えるようにしたり、ブックスタートでの読み聞かせの時にも周知しています。
- (委員) 乳幼児預かりサービスは、他の曜日も行っていきたいという要望はありますか。
- (指定管理者) 特別この曜日にというのはありません。
- (委員) 本は市民の財産だと思いますが、返本率を教えてください。
- (指定管理者) 基本的に返却していただいています。貸出期限を過ぎても返却がない場合には、ハガキか電話等で督促しています。
- (事務局) 予約が入った場合にはすぐに督促し、返却予定日の翌日から起算して30日を超えている資料を未返却の方には貸出停止の処理をとっています。
- (委員) 分館で雨漏りして雑誌を再購入したとありますが、購入費用は、どちらが負担するのですか。
- (指定管理者) 管理運営委託料で支出しました。
- (事務局) 汚破損による本の補充は、管理運営委託料に含まれています。
- (委員) 独立した建物ではないので、どのように棲み分けたらよいのですか。
- (事務局) 分館は、施設の管理は市民センターの管轄になります。図書館のことは図書館で支出します。
- (委員) システムトラブルがありますが、全面的なシステムダウン時や停電による使用不可の場合、手動的に対応する体制がとれているのか、または閉館になるのですか。
- (指定管理者) システムダウン時には、まずは手書きで対応します。
- (委員) 学校支援で、第四小学校、吹上小学校、東小中学校とありますが、どのようなことをするのですか。
- (指定管理者) 学校図書館に伺い、展示を行ったり、ディスプレイの更

新、本の整理、本の修理、除籍候補の選定等を行っています。

(委員) 何名行かれていますか。

(指定管理者) それぞれ1名ずつです。

(委員) 上半期の利用実績で、入館者数は19%増、貸出者数は6.6%減、一方で貸出点数9.7%増。たくさんの方は来ているが、貸出手続きをする人は少なく、しかしながら一人当たりの貸出点数は多くなっている。他の自治体の指定管理もされている指定管理者からみて、青梅市のこの数字と傾向を、他の自治体と比較して、どうみえますか。

(指定管理者) 貸出数、貸出人数は市全館の数字です。入館者数は中央図書館のみの数字です。休館日の減、開館時間の増、近隣2つの分館の廃館といった背景もあり、中央図書館の入館者数が2割増につながっていると思います。

他の自治体の傾向は、伸びているところと伸びていないところがあります。伸びているところは、貸出点数を増やしたり、指定管理導入に伴い休館日を減らしています。近隣に大きなマンションができたところも、増える傾向があります。

市も新生児の数が減っていますが、何もしなかったら、入館者数が減少する傾向が続いていたと思いますが、貸出点数や開館時間を増やしたことで、マイナスからプラスに転じたと思っています。

(委員) 貸出者数の児童が伸び悩んでいる印象をうけますが、どうですか。入館者数が増えていますが年齢層の分析はしていますか。

(事務局) 中央図書館のみBDSゲートがあるため、入館者数をカウントすることができますが、年齢別にはできません。

(指定管理者) 子どもの数が減っているのですが、図書館に来ている数もそれに応じて減る傾向はあるかも知れませんが、児童書の貸出数は前年度比14.9%増ですので、より利用しやすくなっていると思います。

(事務局) 図書館未利用者が6割いるので、もっと工夫して新しい利用者の発掘に努めていきます。

(委員) 稲城市立図書館の取り組みとして読書通帳の新聞記事があり、貸出冊数が順調に増えているということですが、読書通帳の検討の余地があるかと思いますがどうですか。

(事務局) 今後、検討していきます。

(委員) 議会でも学校の課題でよく学力向上が出てきます。読書通帳で本に興味を持てば、先々の市民の教養が高まるので、魅力的なシステムをお願いします。

(委員) 今後の予定として何か目玉となるイベントはありますか。

(指定管理者) 10月末に司書資格を持つ嘶家による、図書館ならではの落語会を行います。

(4) 中央図書館来館者数500万人達成について

(事務局) [資料4にもとづき説明]

3 その他

(事務局) [次回開催日程について説明]

(会長) 以上で、本日予定していた案件は全て終了いたしました。委員の皆様方には、長時間にわたり御協議を賜りまして、大変ありがとうございました。

これをもちまして、平成28年度第2回図書館運営協議会を閉会いたします。本日は大変御苦労さまでした。

以上